資料７

平成２９年度第１回北九州市障害者支援計画フォローアップ会議での主な意見

開催日時；平成２９年６月２１日（水）１８時から
場　　所；北九州市役所３階　大集会室

議題１；北九州市障害者支援計画の進捗状況について

（１）難病の取り扱いについて

【構成員】

難病の人は、医療費助成が受けられなくても障害福祉サービスの対象となる場合がある。そういった立場の人への支援が行き届く取組を進めて欲しい。

【事務局】

新たに作成したサービスガイドやホームページの活用など、より広く情報提供に努めたい。

（２）障害者が踏み出すことのできる取組について

【構成員】

いろいろな相談体制があるが、あくまで受身の部分が大きい。窓口に出向くなど、障害者が一歩踏み出すことができる力、セルフマネージメント力をつけるような取組を進めて欲しい。

【事務局】

制度や手続きについての情報提供をすすめ、障害当事者の方がより簡単にサービスに繋がるような取組なども進めていきたい。

（３）災害時対応について

【構成員】

要援護者避難者名簿や福祉避難所などの整備状況を受けて、障害者の災害時対応についての全体的な見直しについて、現在の対応状況を確認したい。

【事務局】

昨年４月の熊本地震のあと、本市危機管理室において、避難所運営マニュアルなどの大幅改訂を行っている。障害者を含め一時的に避難いただく一般避難所での受付方法、障害者への配慮や個別の対応について、具体的に整理しており、また、車中泊の避難者などへの具体的な対応方法等もまとめている。

今後も引き続き改善に努めたい。

（４）就労移行者への生活支援について

【構成員】

障害者の一般就労支援に際しては、一部、生活の支援として、自立支援を組み合わせてみた事例があったと思う。計画相談がない就労移行支援では、フォローアップが十分にできない。

【事務局】

障害者の一般就労後の定着は難しく、本人や家族の生活の支援も必要である。今後、就労定着に向けた支援をより進めていきたい。

（５）発達障害者の取扱いについて

【構成員】

発達障害について、いろいろな取り組みの中で精神障害に含まれたり、含まれなかったり、曖昧さがあり、戸惑いがあるのではないかと感じる。

【事務局】

ご指摘のとおり、障害福祉サービスなど法定の制度と、個別の事業や取り組みで取扱いに違いがあるのが現状。障害当事者目線で違和感がある場合もあると思うが。法や制度の枠組みの問題もあり、ご理解いただきたい。

（６）地域で暮らす障害者とその家族を支援する取組について

【構成員】

地域で生活する障害者とその家族を支援する取組について、母親が自宅で知的障害をもつ娘を殺害した事件を受けて、市として課題の把握やなにか新たな取り組みの検討など行ったのか、また、次期計画に向けた検討など、対応の現状を聞かせて欲しい。

【事務局】

個別の事案については、公判の経緯を見極めたい。地域で暮らす障害者やその家族への支援のあり方については、今後、自立支援協議会内の地域ネットワーク部会において「在宅障害者と家族の包括的支援を考える」というテーマで、議論を行っていく。地域ネットワーク部会での意見については、次期計画にも反映させていきたいと考えている。

議題２；北九州市障害福祉計画　PDCA チェックについて

（１）「福祉施策の入所者の地域生活への移行」ついて

【構成員】

評価（C）にある引上げの働きかけは、「診療報酬」で間違いないか。

【事務局】

診療報酬ではなく「報酬又は報酬単価」である。グループホーム等の人員配置などを進めるために、報酬を引き上げるよう国に働きかけを行っている。

【構成員】

報酬単価を上げれば実際にそこでサービスを提供する人が現れるかといえば、必ずしも繋がらないような気がする。クオリティーの高いサービスを提供するそういう主体の方も併せてやっていかないと数値だけ掲げても難しい。次の支援計画を立てるときにその辺も検討して頂きたい。

また、重症の方等含めて地域移行を考えていかないと難しいと考える。

（２）「入院中の精神障害者の地域生活への移行」について

- 意見無し

（３）「地域生活支援拠点等の整備」について

【構成員】

全国で先行されている 22 箇所の実施事例の中で、北九州に合った参考になる取り組みはあるか。

【事務局】

参考になる取り組みでは、例えば東京都の大田区で基幹相談支援センターと既存の施設とをつなぐ形で相談から受入れまでの体制を組んでいくことをモデルで行っているので、そういったところは参考になると思っている。次の計画の中で再度どう位置づけていくかということについては議論していきたい。

（４）「福祉施設から一般就労への移行促進」について

- 意見無し

（５）その他の活動指標

【構成員】

見込み量以上に実績が大幅に増えているものや、実績が見込み量より下回っているものがある。その要因について、ニーズが予想以上にあり実績が伸びているもの、ニーズはあるがキャパシティーが無いため実績が伸び悩んでいるものなど、把握していれば教えて欲しい。

【事務局】

見込み量よりも実績が伸びているものは、特に、ニーズが高いものと認識している。例えば生活介護であるとか、短期入所、放課後等デイサービスというのはまだまだ伸びていく傾向があり、ニーズにしっかり応えていきたい。また、就労移行支援についても、対応の中でニーズの拡大を感じており、いろんな事業所が出来た上で、切磋琢磨し、取捨選択されて良いものが残っていくという事業展開になると考えている。

【構成員】

やはり身体障害のグループホームというのが中々できない。そこに課題を感じる。